

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------|---|---------------|
| ○事業所名 | ほっとるーむミカタ | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年 9月10日 | | ～ 2024年10月16日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 4 | (回答者数) 4 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年 9月10日 | | ～ 2024年10月16日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2024年10月25日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|----------------|
| 1 | 個別療育や作業療育、グループ活動などの充実 | 目の前の困りごとや今すべき訓練を保護者とのコミュニケーションを密にして、常にアップデートしている。計画書を作成する際のモニタリングでは、それに加えて長期的な視点も話し合い、計画書に反映させている。 | |
| 2 | 子どもたちが自分の居場所にしやすい環境づくり、アットホームな雰囲気づくり | 子ども同士の横のつながり、スタッフと利用する子どもたちが家族のように接することが出来るような環境づくりや心配りに気を付けている。 | |
| 3 | 訓練としてだけでなく、家でも使える動作(しつけ)などの意識づけ | 自分でできるようなこと(配膳準備や下膳、トイレトレーニングなど)をルーティン化し、自分で出来ることを少しでも増やし、家族の負担が少しでも減らすことが出来るよう努めている。 | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 全体的に事業所側からの発信が少ないと考える。 | 他の事業所に比べ、SNSなどの媒体をオープンにしておらず、日々粛々としていることも「していない？」と捉えられがちである。 | リスク管理上、SNSなどの媒体を増やすつもりはないが、発信回数の増加や、紙媒体での広報誌などを検討したい。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| | |
|------|-----------|
| 事業所名 | ほっとるーむミカタ |
|------|-----------|

公表日 年 月 日

利用児童数 年 月 日 回収数 4

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|----|---------------|-----|-------|-----|------------|
| 環境・ 体制 整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| 適切な 支援の 提供 | 5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。 | 3 | | | | 1 | |
| 保護者 への 説明等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 4 | | | | | |
| | 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 4 | | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 2 | | | | 2 | |
| | 15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 2 | | | | 2 | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 4 | | | | | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 4 | | | | | |
| 19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 4 | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|--|--|--------------------|--|
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 4 | | | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 4 | | | | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 4 | | | | | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 4 | | | | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 4 | | | | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 4 | | | | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 4 | | | | 全てにおいて、安心、満足しています。 | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | ほっとるーむミカタ | | 公表日 | | 年 月 日 | |
|----------|----|--|----|-----|---|---|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 6 | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | | 事故を未然に防ぐことが出来るよう、懸念される場所を見つけた際には、トラテープなどで視覚的に注意をうながしている。 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6 | | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 6 | | 日々の業務改善などはミーティングなどで話し合いをして、改善している。 | 人数が限られているため、はっきりとしたPDCAサイクルは回していない。今後確立するよう努める。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | アンケート結果は職員にも回収し、会議も開催してその後の業務改善や方針につなげている。また分析結果をグラフにして保護者にフィードバックしている。 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 6 | | 今後、組織づくりも含めて検討していく。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | | | 人数が増えてきて、日々の業務に追われ、研修時間が取りづらくなってきている。定期的に研修日を設け、1日時間をかけて開催していきたい。 | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | | SNSなどを使用し、日々のプログラムや活動を示している。 | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 6 | | 日頃より子どもたちはもとより保護者にも積極的に関り、家族内の困りごとや本人の希望など相談しなくても吸い上げられるように留意している。 | | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | | 計画書更新時には、会議を開催し、事前にモニタリングした上で保護者との会議に臨んでいる。 | | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | | 保護者との会議の後、計画書の作成に向けた会議を行い、職員全員で意見を出し合った上、計画書を作成している。 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 5 | 1 | 発達検査などを受けた場合は、モニタリングの際に反映している。日々の行動はなるべく心情や行動パターンなどが後から見て分かるように記録している。 | 用語がわかりませんでした | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | | | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|--|---|--|
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | | 利用記録自体に細かい内容で記入。その行動に対する心情等も記録することとし、後から読み直しても情景が分かるように心掛けている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | | | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | | | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | | | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | | | |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) | | | | |
| | | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) | | | | |
| | | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 6 | | 障害児通所支援事業所育成事業に参加しており、研修も受講している。事業所にお越しいただいて助言いただく際には常勤社員全員で話を聞くようにしている。 | |
| 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 6 | | | | |
| 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6 | | デイ内で過ごした様子は記録以外にも引継ぎとして保護者へ細かく伝えている。また、連絡帳の通信欄を通じて、保護者の日頃の悩みなどを聞き、 <small>デイでの取り組みをアップデートしている</small> | | |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 4 | 2 | | 幼稚園児から高校生まで預かっている事業所なので、なかなかターゲットを絞りづらいことがある。今後は各世代ごとに適した小さい会合など開けたいか検討する | |
| 保 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | | | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | | | |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 6 | | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6 | | 連絡帳の通信欄に子育ての悩みなどが書かれている場合は、例示して対応策と一緒に考えてみたり、それをアップデートして事業所での課題とすり合わせて訓練するようにしている | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--|--|
| 保護者への説明等 | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 6 | | | 幼稚園児から高校生まで預かっている事業所なので、なかなかターゲットを絞りづらいことがある。今後は各世代ごとに適した小さい会合など開けないか検討する。 |
| | 40 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 6 | | 保護者だけでなく、利用者家族全体と付き合う形で向き合っている。送迎時、モニタリング時など何か家族と接する際は、情報収集に努めている。 | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | | | 事業所としては、十分とはいえないまでも情報提供しているつもりだが、アンケート結果が総体的に情報発信の少なさが原因のような気がしているため、今後対策していきたい。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 6 | | | |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 6 | | 自治会に所属しており、自治会主催のイベントなどに参加させてもらっている。また公園や地域の清掃活動を積極的におこない、地域住民に知ってもらう機会を作っている。 | |
| | 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 6 | | |
| 46 | | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 6 | | | |
| 47 | | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 6 | | 保護者から服薬の確認、発作の際の対応などを確認し、一覧表にまとめて掲示している。 | |
| 48 | | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | 6 | 医師の指示書まではないが、保護者からアレルギーの内容と発作時の対応方法と緊急連絡先を確認している。 | |
| 49 | | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | | | |
| 50 | | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | | | |
| 51 | | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 6 | | | |
| 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | | | | |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 6 | | | | |